



ファームウェア バージョン :	v3.10.011
ハードウェアバージョン :	B1
発行日:	2013/2/25

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- スwitchの電源が入っている場合は、以下の方法でハードウェアのバージョンを確認できます。
  - ・ CLI (Telnet 経由) で show switch コマンドを入力する
  - ・ Web-UI の Device Information ページを参照する。

新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

## 目次 :

変更履歴とシステム要件 :	2
注意事項 :	2
アップグレード手順 :	2
CLI (Telnet 経由) を使用するアップグレード .....	2
Web-UI を使用するアップグレード .....	4
SmartConsole ユーティリティを使用したアップグレード手順 .....	9
追加機能 :	12
MIB および D-View モジュールの変更点 :	12
コマンドラインインタフェースの変更点 :	12
修正した問題点 :	12
既知の問題 :	13

**変更履歴とシステム要件：**

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
v3.10.011	2013/2/25	DES-1210-28	B1

**注意事項：**

ファームウェアのアップグレードを行う際に TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

**アップグレード手順：**

ファームウェアアップグレードは、[CLI \(Telnet 経由\)](#)、[WebGUI](#) または [SmartConsole ユーティリティ](#) から実行することができます。

**CLI (Telnet 経由) を使用するアップグレード**

1. スイッチと PC 間でネットワーク接続が確立されているかをご確認ください。
2. Telnet をサポートしているソフトウェア（例えばハイパーターミナルや Microsoft Windows の Telnet コマンド）を使ってスイッチに接続します。Telnet コマンドを使う場合は、スイッチの IP アドレスに合わせてコマンドを入力してください。 例：telnet 10.90.90.90
3. ログオンプロンプトが表示されます。

ユーザ名とパスワードの入力を求められます。

工場出荷時のユーザ名およびパスワードは admin です。

ファームウェアをアップグレードするには、以下のコマンドを実行します。

コマンド	説明
download {firmware_fromTFTP tftp://ip-address/filename   cfg_fromTFTP tftp://ip-address/filename}	TFTP サーバからスイッチにファームウェアファイルをダウンロードします。
show switch	現在のファームウェアおよびブートバージョンの情報を表示します。

次の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例：

**1.ファームウェアを本製品にダウンロードします。**

```
DES-1210-28> download firmware_fromTFTP tftp://10.90.90.100/DES-1210-28_B1_FW_v3.10.011.hex
```

```
Device will reboot after firmware upgraded successfully
```

```
Image Updated Successful
```

※スイッチへのファームウェアのダウンロードが正常に完了すると、自動的にスイッチが再起動します。

**2.スイッチ再起動後、「show switch」コマンドを使用して、ファームウェアがアップグレードされているか確認してください。**

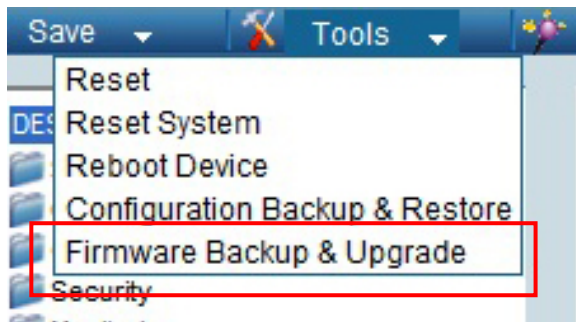
```
DES-1210-28> show switch
```

```
System name           :  
System Contact        :  
System Location       :  
System up time        : 0 days, 0 hrs, 3 min, 23 secs  
System Time           : 01/01/2012 00:08:38  
System hardware version : B1  
System firmware version : 3.10.011  
System boot version    : 1.00.002  
System Protocol version : 2.001.004  
System serial number   : F3Y32C50000106  
MAC Address           : CC-B2-55-C7-A1-2B
```

**注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。**

## Web-UI を使用するアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. ブラウザを起動し、システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。デフォルトのシステム IP アドレスは 10.90.90.90 です。
3. Tools メニューから[Firmware Backup & Upgrade]を選択します。



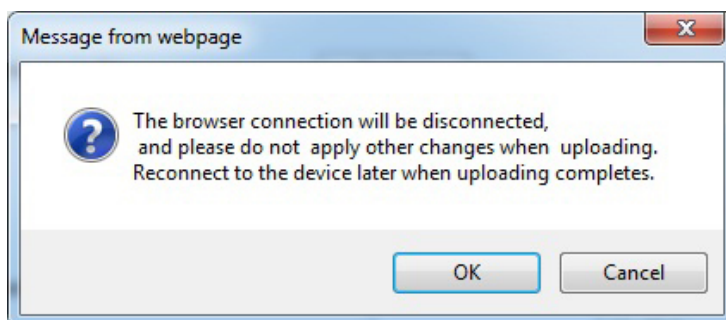
4. [Firmware Backup and Upgrade]画面では、「HTTP」もしくは「TFTP」経由でファームウェアのアップグレードを行うことができます。

・ HTTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合

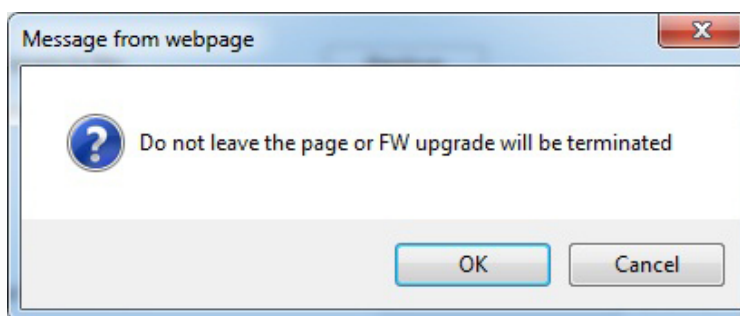
ステップ 1 : [参照]/[Browse]ボタンをクリックして、ローカル PC 内のファームウェアファイルを指定して、[Upgrade]ボタンをクリックします。



ステップ 2 : Upgrade ボタンをクリックした後、次のメッセージが表示されるので[OK]をクリックします。



ステップ 3 : 続いて、次のメッセージが表示されるので、[OK]をクリックします。

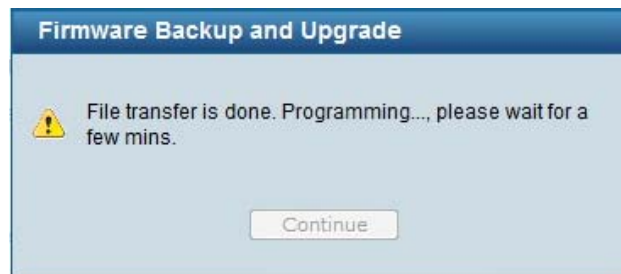


ステップ 4 : ファームウェアのアップグレードが開始します。

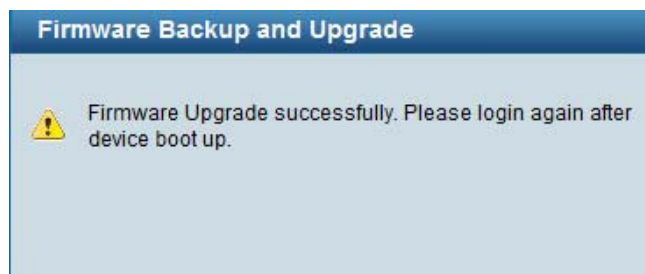


**注意 : ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。**

ステップ 5 : 次に、以下の画面が表示されます。しばらくお待ちください。



ステップ 6 : ファームウェアのアップグレードが正常に終了すると、下記の画面が表示され、スイッチが自動的に再起動を行います。



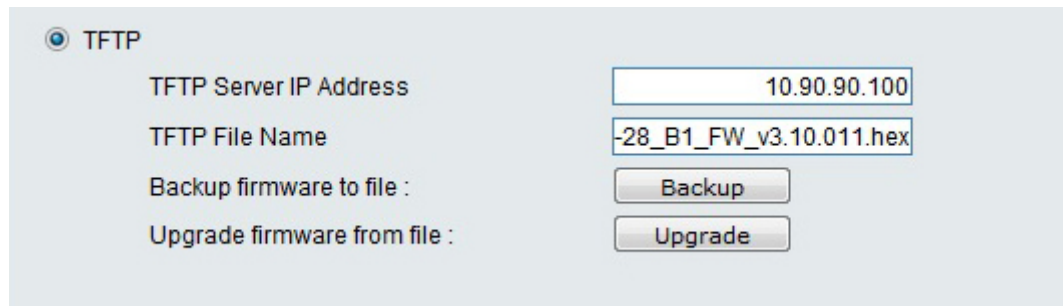
ステップ 7 : スイッチが完全に起動したことを確認し、Web ブラウザをリロードし、再度ログインして、[Device Information]画面でファームウェアがアップグレードされていることを確認してください。

Device Information			
<b>Device Information</b>			
Device Type	DES-1210-28	System Name	
Boot Version	1.00.002	System Location	
Firmware Version	3.10.011	System Time	01/01/2012 0
Protocol Version	2.001.004	System Up Time	0 days , 0 hou seconds
Hardware Version	B1	Trap IP	0.0.0.0
Serial Number	F3Y32C5000106	Login Timeout (minutes)	5
MAC Address	CC-B2-55-C7-A1-2B		

・ TFTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合

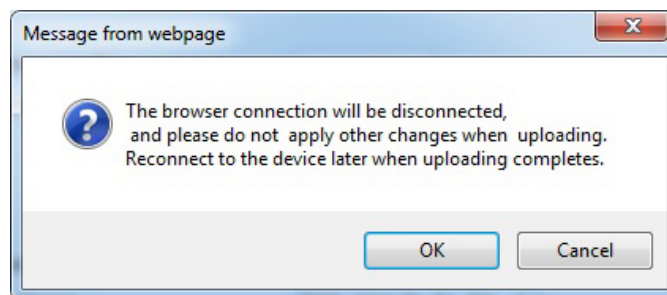
※TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

ステップ 1 : TFTP を選択後、必要な情報を入力し、[Upgrade]ボタンをクリックします。



The screenshot shows a web interface for TFTP configuration. It has a radio button labeled 'TFTP' which is selected. Below it are two input fields: 'TFTP Server IP Address' with the value '10.90.90.100' and 'TFTP File Name' with the value '-28\_B1\_FW\_v3.10.011.hex'. At the bottom, there are two buttons: 'Backup' and 'Upgrade'.

ステップ 2 : 次のメッセージが表示されるので[OK]をクリックします。



ステップ 3 : 続いて、次のメッセージが表示されるので、[Continue]ボタンをクリックします。



ステップ 4 : [Continue]ボタンをクリックすると、[Firmware Backup and Upgrade]画面に戻りますが、ファームウェアのアップグレードは継続されており、アップグレードが終了すると自動的に再起動します。

※ファームウェアのアップグレードの経過を確認する際は、ご使用の TFTP サーバのログを確認し、アップグレードが終了したか否かを確認してください。

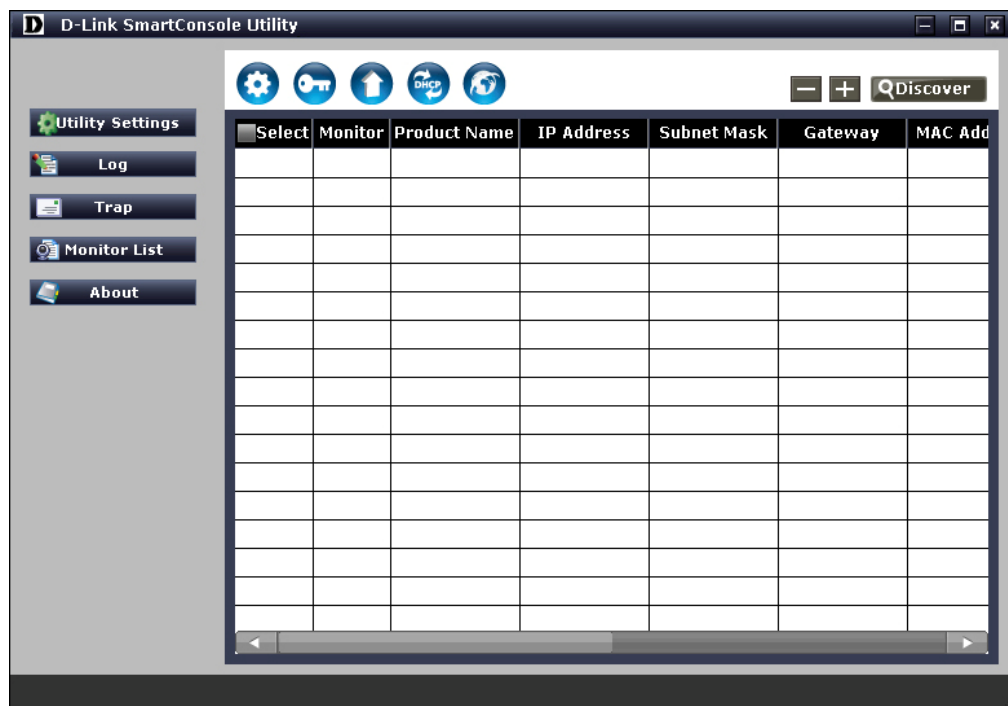
**注意 : ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。**

ステップ 5 : スイッチが完全に起動したことを確認し、Web ブラウザをリロードし、再度ログインして、[Device Information]画面でファームウェアがアップグレードされていることを確認してください。

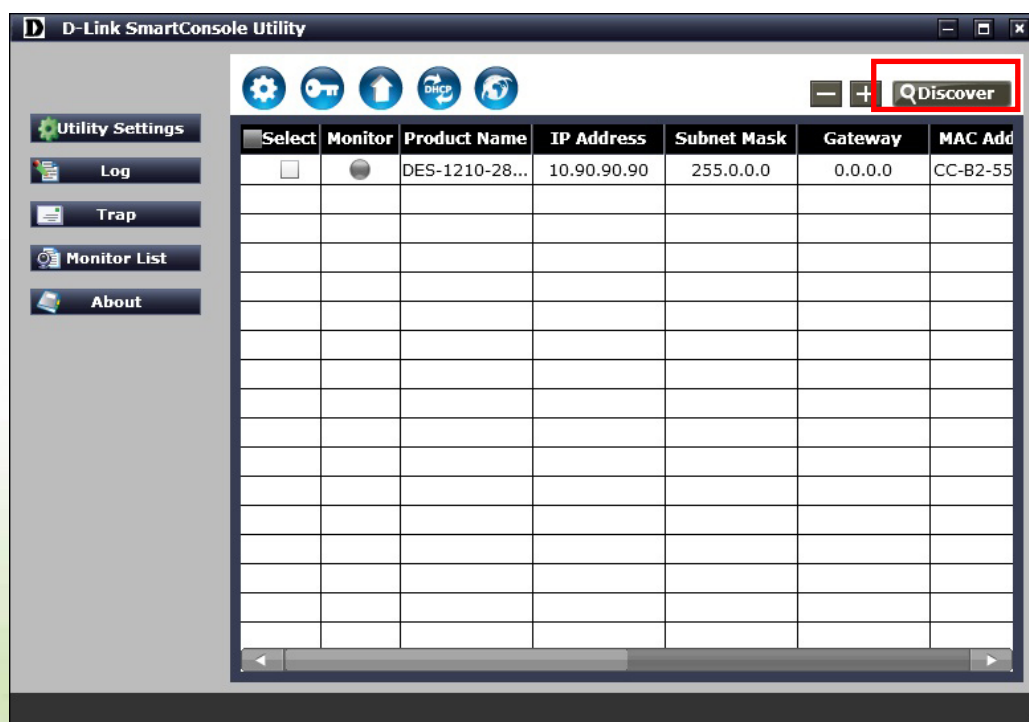
Device Information			
Device Information			
Device Type	DES-1210-28	System Name	
Boot Version	1.00.002	System Location	
Firmware Version	3.10.011	System Time	01/01/2012 0
Protocol Version	2.001.004	System Up Time	0 days, 0 hours, 0 minutes, 0 seconds
Hardware Version	B1	Trap IP	0.0.0.0
Serial Number	F3Y32C5000106	Login Timeout (minutes)	5
MAC Address	CC-B2-55-C7-A1-2B		

## SmartConsole ユーティリティを使用したアップグレード手順

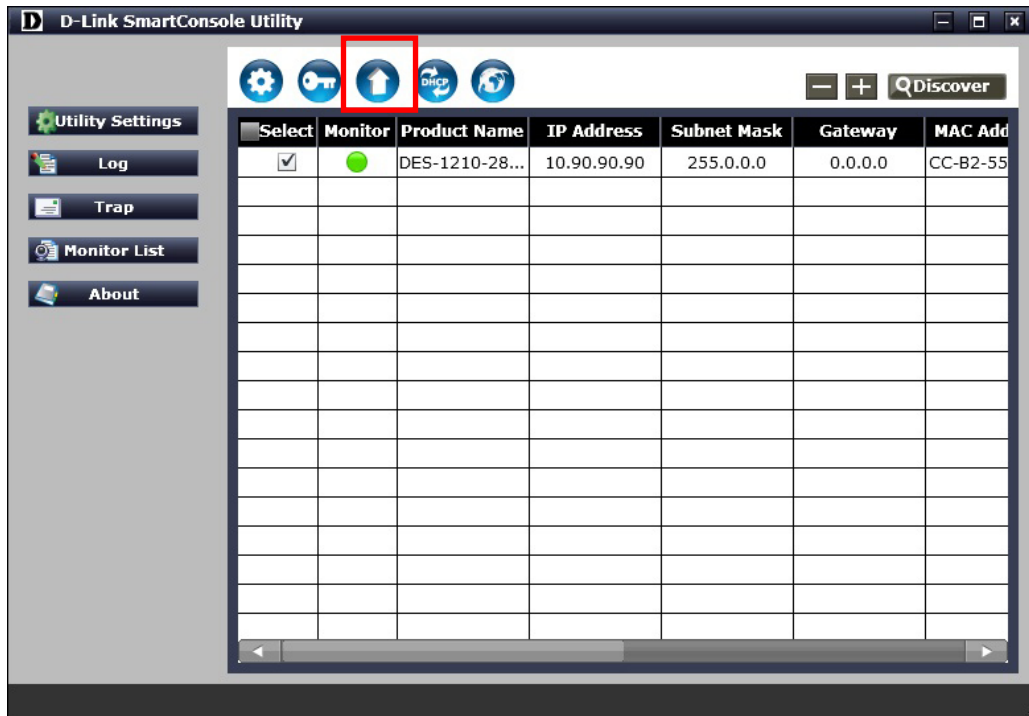
1. Smart Console ユーティリティを起動します。



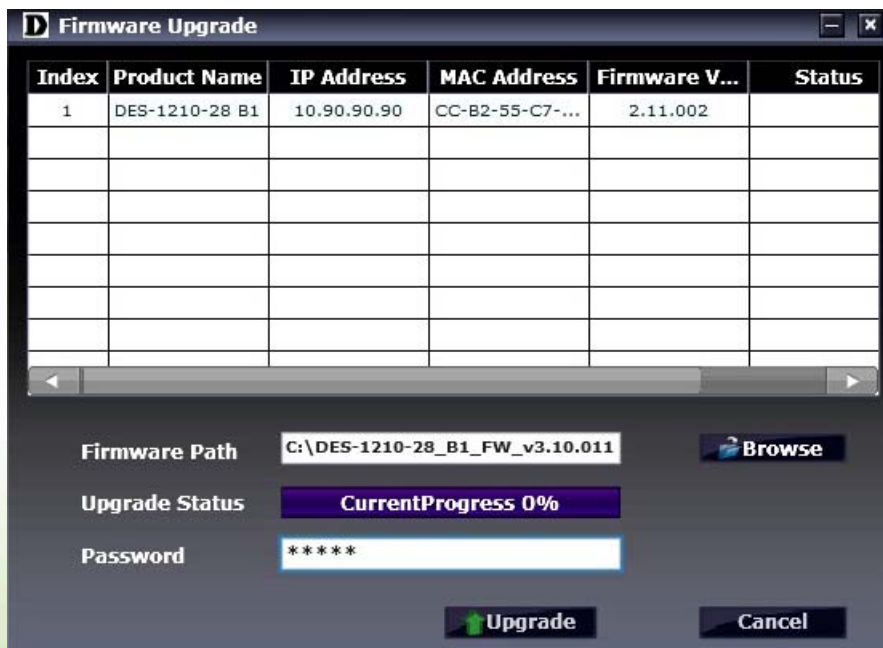
2. [Discover]ボタンをクリックして、アップグレードを行う対象のスイッチを探します。



3. ファームウェアのアップグレードを行う対象のスイッチを選択し、ファームウェアアップグレードボタンをクリックします。



4. ファームウェアアップグレードボタンをクリックすると、[Firmware Upgrade]画面が表示されます。  
[Browse]ボタンをクリックし、ファームウェアアップグレードに使用するファームウェアを選択し、  
[開く]ボタンを押します。  
[Confirm Password]にパスワード(初期設定では admin)を入力し、[Upgrade]ボタンをクリックし、ファームウェアのアップグレードを開始します。



**注意：**ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。また、設定変更も行わないでください。

- アップグレードが完了すると、[Upgrade Status]の[Processing100%]と表示され、自動的にスイッチが再起動します。

The screenshot shows the 'Firmware Upgrade' window. It contains a table with the following data:

Index	Product Name	IP Address	MAC Address	Firmware V...	Status
1	DES-1210-28 B1	10.90.90.90	CC-B2-55-C7-...	2.11.002	Processing

Below the table, the 'Firmware Path' is set to 'C:\DES-1210-28\_B1\_FW\_v3.10.011'. The 'Upgrade Status' is displayed as 'Processing100%' in a purple button. The 'Password' field is masked with '\*\*\*\*\*'. At the bottom, there are 'Upgrade' and 'Cancel' buttons.

- スイッチが完全に起動すると [Status]欄に[Success]と表示され、ファームウェアのアップグレードは終了となります。

The screenshot shows the 'Firmware Upgrade' window with the 'Status' column now displaying 'Success' for the first entry, which is highlighted with a red box. The 'Upgrade Status' button still shows 'Processing100%'. The 'Firmware Path' and 'Password' fields remain the same. The 'Upgrade' button now has a green upward arrow icon.

[Cancel]をクリックし、[Firmware Upgrade]画面を閉じます。

※WebUI を使用したアップグレードと同様、[Device Information]画面でファームウェアがアップグレードされていることを確認してください。

**追加機能：**

ファームウェアバージョン	追加機能
v 3.10.011	<ol style="list-style-type: none"> <li>ループバック検知を v4.04 にアップグレード致しました。</li> <li>リンクアグリゲーションのグループ数を 14 に変更致しました。</li> <li>IPv6 Neighbor Discovery をサポート致しました。</li> <li>IPv6 ACL をサポート致しました。</li> <li>CoS (ToS・TCP/UDP ポート・IPv6 トラフィッククラスベース) をサポート致しました。</li> <li>HTTP/SSL/Telnet/SNMP 経由での IPv6 管理をサポート致しました。</li> <li>外部サーバ (RADIUS, TFTP, system log, DHCP, SNTP) への IPv6 アドレス設定をサポート致しました。</li> <li>トラフィックセグメンテーションをサポート致しました。</li> <li>スマートバインディングをサポート致しました。</li> <li>ICMPv6 をサポート致しました。</li> <li>IPv4/IPv6 デュアルスタックに対応致しました。</li> <li>D-Link Green 3.0 に対応致しました。</li> <li>IPv6 Core Ready Logo phase II に対応致しました。</li> </ol>

**MIB および D-View モジュールの変更点：**

ファームウェアバージョン	MIB	変更点
v 3.10.011	DES-1210-28-B1_MIB_v3.10.008.mib	v 3.10.011 の新機能に対応致しました。

ファームウェアバージョン	D-View Module	変更点
v 3.10.011	DV_DES-1210-28_B1_v3.0.0.6_for_FW_v 3.10.011.exe	v 3.10.011 の新機能に対応致しました。

**コマンドラインインタフェースの変更点：**

特になし。

**修正した問題点：**

ファームウェアバージョン	修正した問題点
v 3.10.011	ディレクトリトラバーサル、暗号化、情報公開などの脆弱性の問題を修正致しました。

## 既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題	問題への対処方法
v 3.10.011	<ol style="list-style-type: none"> <li>チップセットの制限のため、ギガビットポートでケーブルの長さを診断する場合、ポート速度が 1000M モードでは検知できるが、10M/100M モードでは検知できない問題。</li> <li>VoIP 電話およびアップリンクポートがアンタグ設定の場合、VoiceVLAN でいくつか制限がある問題。（VoiceVLAN ルールに合致した音声パケットは Voice VLAN ルールによりアサインされた VID ではなく、Ingress ポートの PVID に従って転送されます。） チップセットの制限によるものであり、スイッチが VID を置き換える前に転送先が決定されるためです。</li> <li>スマートバインディング機能において IP+ARP Inspection を選択し、DHCP スヌーピングが有効になっている場合、PC クライアントが IP アドレスを取得しない問題。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>ケーブルの長さを診断する場合は、1000M モードで行ってください。</li> <li>タグなしのアップリンクポートをデータ VLAN のメンバにし、タグ付きのものを音声 VLAN のメンバに設定してください。</li> <li>DHCP スヌーピングを有効にする場合は、スマートバインディング機能で ARP Inspection を選択してください。</li> </ol>

Copyright 2006-2013 D-link Japan K.K.